

<特別号>

BTMU CHINA WEEKLY

発行：三菱東京UFJ銀行 国際業務部 中国業務支援室

編集：三菱UFJリサーチ&コンサルティング 海外アドバイザリー事業部 中国グループ 情報開発チーム

トピックス：中国が利下げを発表

中国人民銀行（中央銀行）は8日、人民元預金並びに貸出基準金利の引下げ・人民元預金準備率の引下げを発表致しました。

1. 人民元預金並びに貸出基準金利引下げ（2008年10月9日より実施）

（単位：%）

	変更前	変更後	変更幅
1. 預金金利			
(1) 流動性預金	0.72	0.72	0.00
(2) 定期預金			
3ヶ月	3.33	3.15	▲0.18
6ヶ月	3.78	3.51	▲0.27
1年	4.14	3.87	▲0.27
2年	4.68	4.41	▲0.27
3年	5.40	5.13	▲0.27
5年	5.85	5.58	▲0.27
1. 貸出金利			
6ヶ月以内	6.21	6.12	▲0.09
6ヶ月超1年以内	7.20	6.93	▲0.27
1年超3年以内	7.29	7.02	▲0.27
3年超5年以内	7.56	7.29	▲0.27
5年超	7.74	7.47	▲0.27
2. 個人住宅公的積立貸出金利			
5年以内(含む5年)	4.59	4.32	▲0.27
5年超	5.13	4.86	▲0.27

2. 人民元預金準備率引下げ（2008年10月15日より実施）

- 金融機関の人民元預金準備率を0.5%引下げ。

3. 引下げの背景について

- 先月の利下げから1ヶ月も経たないタイミングでの再利下げとなりました。先月の利下げ効果を見極めるにはやや時間が不十分であること、また今回の利下げ発表とほぼ同じタイミングで、現下の全世界的な金融危機の昂揚に対しグローバルな観点での金融環境支援を目的として欧米主要6中銀(米・英・欧州・スイス・スウェーデン・カナダ)が協調利下げを行っていることなどから、

「協調」の側面がある可能性については念頭に置いておく必要はあろうかと思われます(中国人民銀行からは協調利下げとの発表は為されておりません)。

- 一方、日々混迷の度合いを深める金融危機及び世界経済の落ち着きどころが五里霧中である中、貿易並びに資本取引を通じ中国と密接な関係にある各国の景気減速(失速)が、中国国内景気及び経済成長の足枷となることへの懸念・警戒感は大いに醸成されているものと考えられます。先月の利下げ時には据え置かれた預金基準金利が今回引き下げられたことから、「一保一控(安定的且つ比較的早い経済成長の維持及びインフレ高進の抑制)」の基本経済政策方針において、より一層インフレ対策から安定的経済成長維持へ軸足を移しつつあることが窺え、今回の利下げは国内景気減速への予防的措置並びに株価対策としての追加利下げの意味合いが濃いものと考えられます。

(ご参考)

～欧米緊急協調利下げ～

(単位;%)

	変更前	変更後	変更幅
米国	2.00	1.50	▲0.50
英国	5.00	4.50	▲0.50
欧州(ECB)	4.25	3.75	▲0.50
スイス	2.75	2.50	▲0.25
スウェーデン	4.75	4.25	▲0.50
カナダ	3.00	2.50	▲0.50

2008 年 10 月 9 日

三菱東京 UFJ 銀行(中国) 市場業務部

作成：三菱東京 UFJ 銀行(中国) 市場業務部 021-6888-1666 ex) 2910～2918

当資料は相場情報の提供を唯一の目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資の最終決定は投資家ご自身の判断でなされるようお願い致します。当資料は信頼できる情報に基づき作成したのですが、その正確性、安全性を保証するものではありません。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料は執筆者の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解ではありません。当資料は使用することにより生ずるいかなる種類の損失についても弊社は責任を負いません。尚、当資料の無断複製、複写、転送はご遠慮下さい。当方の都合で、本レポートの全部または一部を予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。